Color Gallery

シリーズ 匠の化学

茶碗の最高峰「曜変天目」 出川哲朗

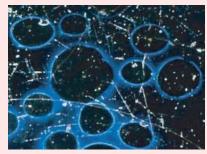
曜変天目は世界に3碗しか現存せず、そのすべてが国宝に指定されている。宋時代に建窯で焼成されたもので、南宋の宮廷でも使われ、日本には室町時代にもたらされ、徳川将軍家にも伝えられた。この曜変天目の釉上に丸い斑文があり、その周囲が青く光り輝くのを特徴としている。この青く見える部分は固有色ではなく、構造色と考えられ、現在その解明が進められている。P296-297



曜変天目茶碗

左は藤田美術館所蔵の曜変天目茶碗 (撮影:三好和義)。右は中国の杭州市 内で発見された曜変天目茶碗(古越会 館蔵)の写真(撮影:出川哲朗)。







曜変天目茶碗の拡大写真

左:青く光る斑文部の拡大写真(撮影:三好和義氏)。右:青い光彩部分の拡大写真(撮影:東京理科大学・中井研究室)。